

沖縄県におけるユーチャリスの周年採花技術の開発

内藤 孝・内藤善美¹⁾・岩本由美²⁾・須藤憲一³⁾・勝連盛憲・比嘉良次
(沖縄県農業試験場園芸芸場・¹⁾ 岩手県立農業大学校・²⁾ 沖縄県中部農業改良普及センター・³⁾ 花き研究所)

Takashi Naito, Zenbi Naito, Yumi Iwamoto, Kenichi Suto, Seiken Katsuren and Yoshitsugi Higa :
Control technique for year-round flowering of *Eucharis grandiflora* in Okinawa

沖縄県におけるユーチャリス生産は、防風ネットで被覆した施設内に地植えした季咲き栽培が主体であり、需要の多くない時期に比較的大量に出荷されるため、価格が低い傾向である。そのため結婚式シーズンの需要期や市場の要求に対応できる開花調節技術の開発を目指して、本県でのユーチャリス栽培に適した栽培環境と採花率向上技術を検討した。

1. 材料および方法

Eucharis grandiflora の球根あるいは数個の球根の分球により形成された株を鉢またはプランターに移植し養成の後、各種試験に供試した。高温処理は無加温のガラス室や人工光 (2300lx) のプレハブ恒温庫あるいはサニーコートとタイベックで被覆したトンネルにヒーターおよびエアコン室外機で加温した施設を使用した。低温処理は高温処理と同様のトンネル施設に業務用または家庭用エアコンを設置して行った。

2. 結果および考察

1) 適正光量の検討

栽培時の適正光量の解明のため、遮光資材や、遮光期間など遮光方法について検討した結果、遮光率約75%の黒1 mm 目ラッセル編ポリエチレン製防風ネットによる周年遮光で株当たりの開花数が1.53本と多く、莖長や重量などの品質が良い切り花が得られた。

2) 開花調節栽培に適した球根サイズの検討

球根サイズが長径5 cm以上の球根を供試すると開花率が高かったが、切り花品質への球根サイズの影響は小さかった。

3) 開花調節方法の検討

開花調節方法を検討した結果、球根が栄養的に充実し、分球中でない長径5 cm以上の球根を葉根を付けたままポットに2球ずつ植え替え3か月程度養成した後、32°Cで2週間の高温処理とその後15°Cの低温処理を行うと高率に開花した。更に時期的な自然高温の利用

や低温処理9週以後の温度変化により、開花時期が約20日調節され、開花期を分散することが可能であった。

祖一ら¹⁾が32°Cで4週間以上の処理を必要とする報告があるが、球根の開花前歴などのコンディションをそろえ、低温処理の温度を昼20°C夜15°C、又は全期間15°Cとした結果、高温処理期間は2週間で十分であった。

また、開花調節処理の3か月前あるいは直前に移植と分球の除去を行うと、移植なしでは平均46.1%であるのに対し、平均84.4%と向上し、これらの作業が開花に影響を及ぼしていることが示唆された。

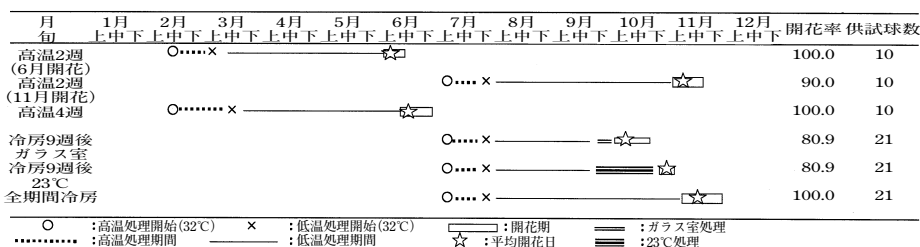
4) 周年栽培方法の検討

プランターに開花前歴を無視した球根を鉢上げした後、1か月程度養成した株を家庭用小型エアコン付き簡易トンネル (4.6m²) を用いた冷暖房の施設3基を使い、高温処理と低温処理を組み合わせて、8作行ったところ通算854本採花できた。開花率は冷房調整の不足や、病気の発生により、最高で48.9%、平均で26.2%と低かったが、球根の開花前歴を揃えることや、十分な養成期間、厳密な温度管理で採花率の向上は可能と考えられた。使用した電気量は1,146kw/回 (約27,200円程度) であった。なおこの装置は小型のエアコンによる低温処理と、高温処理に室外機の廃熱も利用するなど (コジェネレーション) も考慮されており、改善の余地はあるが、おおむね必要とする温度を周年実現できた。

以上のように、冬季温暖な沖縄県において、防風ネット遮光ハウス内で旺盛に生育する充実した球根を鉢上げして、冷暖房処理を行うことによる周年生産が期待されるが、開花の安定した制御に向けて、より生育開花機構の解明が必要である。

引用文献

- 1) 祖一範夫・瀬尾龍右・佐藤義機：香川農試研究報告 47 37-41, 1996.



第1図 開花処理方法と開花時期

第1表 高温と低温処理を組み合わせた開花調節

処理区	供試球数	開花本数	開花率	到花日数*
高温処理条件	(球)	(本)	(%)	(日)
高温2週	73	68	93.2	106
ガラス2週**	10	9	90	110
高温4週	10	10	100	91
無処理	103	12	11.7	—
無処理	10	0	—	—
無処理	6	0	—	—

注) * : 高温処理 (32°C) 終了後平均開花日までの日数。

** : 2001年7月6日より2週間。